

市政に対する

一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。12月定例会では、12月11日・12日・13日の本会議で17人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、5ページまで続きます）。



来庁者や職員のために庁舎内で音楽を流してはどうか

公明党 井上 賢二

●音楽療法について

Q 来庁者へのリラックス効果や職員のストレス軽減などを目的に、庁舎内で有線放送によるBGMを流してはどうか

A 導入には長所、短所があることから、他自治体の状況を踏まえ、調査研究したい。

●安全安心のまちづくりについて

Q 災害協定締結業者と情報伝達訓練を行わないか。

A 市総合防災訓練に、協定締結業者も参加できるように検討していきたい。

Q 国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時交付金」を活用し、学校の体育館にエアコンを設置しないか。

A 交付金は、各学級への設置が対象と承知している。体育館への設置計画はないが、国などの動向を注視する。

Q 建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令の改正を受け、市はどう対応するか。

A 施行令の改正に伴い拡充される、ブロック塀の耐震診断、除却、新設、改修などへの補助制度に関し、国や県から情報を収集し、制度などの活用を検討したい。

●SDGsについて

Q SDGs(国連が定める持続可能な開発目標)を市政にどう生かしていくのか。

A 計画策定や事業実施に当たり、SDGsとの関連を意識するとともに、市民への積極的な広報啓発に努める。

●高齢者の外出支援の強化を

Q コミュニティバスの運行は、文化会館の催しに間に合わないなどの課題がある。実態に合うよう増便してはどうか

A 現在、4車線で5路線を運用しているため、すぐに便数を増やすのは難しい。

日本共産党 上田 博之



コミュニティバス増便と民間バスの百円乗車へ支援を

Q 駅がない本市は、公共交通へのさらなる支援が必要である。民間バスに百円で乗車できる高齢者バス割引乗車券の購入助成をしてはどうか

A 市は、65歳以上や障がいのある方に、コミュニティバス運賃割引制度を実施しているため、民間バス乗車券の購入支援は考えていない。

Q 災害発生時に市民の不安を解消する情報発信の研究を

A デマ拡散防止と市民の不安を解消するため、SNS(ソーシャルネットワーク)を活用してはどうか

Q 情報発信ツールは、必要性を見極め、対応したい。また、放送局は拠点施設の確保も含め、検討していきたい。

●外国人実習生の人権を守り共生の実現を

Q 市独自に技能実習生受入団体を作ることだが、実習生の人権を守るため、どう責任を持って取り組むか。

A 受入監理団体などと連携して実習先企業を見守り、実習生の生の声を聞きながら人権を守っていきたい。

●厚木基地の周辺対策について

Q 空母艦載機移駐による基地の運用変化に関し、国からの説明は。また、今後の課題と解決に向けた市の考えは。

A 国からは、引き続き重要な基地として、空母艦載機の古い施設は取り壊され得るが、土地は運用上、維持されると説明があった。また、基地の一部返還や住宅防音工事、基地との関係の在り方などが課題であり、市内部での議論を始めた。今後、基地の運用や国の対策を注視し、引き続き、議会・市基地対策協議会などと協力し、解決に向け活動する。

●上土棚地区における移転補償の実施状況は。また、対象区域は見直されるのか。

A 国からは、申し込みは約140件で、平成30年度は12件の実施見込みと聞いている。また、見直しは、移駐後の騒音状況を分析し、適切に対応したいと説明があった。

●蓼川河川の改修工事に伴う事業について

Q 綾南公園とやぶね台公園を結ぶ遊歩道に、距離が分かる表示板を設置しないか。

A 遊歩道の整備と併せて設置に取り組みたい。

新国会 青柳 慎



厚木基地の周辺対策に係る課題と解決に向けた考えは

Q 蓼川沿いの公園トイレを洋式化しないか。

A やぶね台公園は洋式化を考える。綾南公園は多目的トイレが洋式のため、他の公園を先行して洋式化する。



昨年11月18日、NHK横浜放送局との共催による「綾瀬市制施行40周年記念NHKのど自慢」が開催されました。綾瀬市オーエンス文化会館にて。



1月13日、「市消防出初式」が開催されました。市民文化センター第1駐車場にて。

「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています

あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センター(☎0467-70-3088)の会員が配布しています。

次号は、改選期のため議員紹介と併せて、6月1日に発行します。